

★「新政権への期待と注文」（その二）

ー マニフェストの実行と平和外交のバランスをー

◆ 前回、今回の政権交代の要因は、民主党のマニフェストに対する賛同というより、自公政権への不満の爆発の結果だと分析しました。

◆ しかし、鳩山内閣成立後の世論調査（テレ朝、日経）では、支持率が75%でマニフェストに対する期待が高まっています。国民はしっかりと見えています。

★喫緊の課題・生活第一は先ず妥当

◆ 前政権の進めた構造改革による国民生活の惨状は、津波に襲われた村々のような風景でした。民は救援を求めています。

◆ 救援の手が届かないところにまず救援を！
日本の国政も同様です。まず、壊されてしまった国民生活（特に生活弱者生活）を根本から立て直すこと、これは当然です。

★平和外交とのバランス

◆ 一方、今回の選挙の争点は、あまりにひどい生活破壊に眼を奪われ、「平和」とか「外交政策」がウエイトとして低かった事は、残念でした。

◆ しかし、どのような国作りをしてゆくのか、国際社会の一員としての日本の国の姿を描くこと、そのための平和外交政策は、決しておろそかにしてはなりません。

★基本は平和憲法

◆ 鳩山首相の、地球温暖化ガス25%削減国際公約や、オバマ大統領の核廃絶提唱への賛同など、その行動は高く評価します。

◆ インド洋での海上自衛隊による給油活動は止めて、アフガン難民に救援物資を運ぶという平和的国際貢献の姿勢にも賛成です。輸送には自衛隊機ではなく民間の貨物輸送機を使うことを希望します。

◆ 実は、国民生活の再建や国際社会における貢献などは、みな平和憲法（現憲法第二十五条、第九条など）が基本です。
◆ 新政権は、この憲法を変えようとする勢力に与する事は決してしないよう強く希望します。

二〇〇九年十月十一日（日） 第五二二回憲法を守る平和行進

★ 浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一（一）一五
★ 月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合